

## 1. 「日本語・日本文化教育科目」とは…

「日本語・日本文化教育科目」とは、同志社大学学則 別表Ⅱに規定されています。

### (1) 対象学生

「日本語・日本文化教育科目」は、**本学に所属する外国人留学生（正規学生および特別学生）**であり、かつ、**日本語や日本文化を学ぶことを希望する学生**を対象として設置されています。

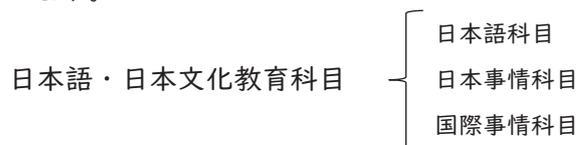
一部の学部・研究科所属の外国人留学生は対象外です。自分が対象かどうかは、所属学部・研究科事務室に確認してください。

また、外国人研究生、特別研究学生、客員研究員（日本学術振興会外国人特別研究員 等）、教員についても、対象外です。

履修の対象となる学生であっても、**日本語や日本文化を学ぶことを希望しない場合は、履修の必要はありません。**

### (2) 「日本語・日本文化教育科目」の構成

「日本語・日本文化教育科目」は、**日本語科目、日本事情科目、国際事情科目**の3つの科目群に分かれています。



**日本語科目**は、日本語能力に応じて初級前期（Ⅰ）、初級後期（Ⅱ）、初中級（Ⅲ）、中級前期（Ⅳ）、中級後期（Ⅴ）、中上級（Ⅵ）、上級前期（Ⅶ）、上級後期（Ⅷ）、超上級（Ⅸ）の9段階のレベルから構成されています。

Ⅰ	初級前期 Elementary Level	初級の基礎的な学習から始める者
Ⅱ	初級後期 Upper Elementary Level	初級をある程度学習している者
Ⅲ	初中級 Pre - Intermediate Level	初級の学習を一度は終えているが、初級の復習をしてから中級の学習に入ることが望ましい者
Ⅳ	中級前期 Intermediate Level	初級の学習を終えた者
Ⅴ	中級後期 Upper Intermediate Level	中級の学習をある程度している者
Ⅵ	中上級 Pre - Advanced Level	中級の学習を一度は終えているが、中級の復習をしつつ上級の学習を行うことが望ましい者
Ⅶ	上級前期 Advanced Level	中級の学習を終え、かつ学習事項が定着している者
Ⅷ	上級後期 Upper Advanced Level	上級の学習を行ったが、運用力をさらに伸ばすことが必要とされる者
Ⅸ	超上級 High Advanced Level	上級の学習事項を習得し、すでにかんりの運用力を有している者

レベルごとに、「アカデミック・リーディングA（2023年度以前生「読解A」）」、「アカデミック・リーディングB（2023年度以前生「読解B」）」、「語彙」、「アカデミック・ライティング（2023年度以前生「文章表現」）」、「オーラル・コミュニケーションA（2023年度以前生「口頭表現A」）」、「オーラル・コミュニケーションB（2023年度以前生「口頭表現B」）」、「文法」という技能別の科目を設置しています。（一部の日本語レベルでは、設置されていない科目があります。）また、ビジネスの場面で出会う日本語やビジネスマナー等を学ぶ「ビジネス日本語」科目も設置しています。日本語科目の詳細については、本誌72ページ～85ページを参照してください。

	アカデミック・ リーディングA  2023年度以前生 読解A	アカデミック・ リーディングB  2023年度以前生 読解B	語彙	アカデミック・ ライティング  2023年度以前生 文章表現	オーラル・ コミュニ ケーションA  2023年度以前生 口頭表現A	オーラル・ コミュニ ケーションB  2023年度以前生 口頭表現B	文法	ビジネス 日本語
I					○	○	○	ビジネス 日本語 A
II					○	○	○	
III				○		○	○	ビジネス 日本語 B
IV				○		○	○	
V				○		○	○	
VI	○	○	○	○	○	○	○	ビジネス 日本語 C
VII	○	○	○	○	○	○	○	
VIII	○	○	○	○	○	○	○	ビジネス 日本語 D
IX	○	○	○	○	○	○	○	

**日本事情科目、国際事情科目**の一部では、海外に向けた日本文化の発信および相互的な国際理解の促進を図るために、国内学生と外国人留学生がともに日本文化や伝統、歴史などを学べる科目を提供しています。

**履修が認められる日本語レベル、修得した単位のカリキュラム上での取り扱いは、所属学部・研究科によって異なります**ので、詳細は所属学部・研究科事務室に確認してください。また、本誌62ページ～71ページも併せて確認してください。